

# 地域おこし協力隊 通信 VOL.81

お問い合わせ先

(観光振興) 企画政策課 企画政策グループ  
電話 5-1114 告知端末機 5-8814

(集落支援) 地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」  
電話・告知端末機 9-7367

## 教育担当 松田大地隊員



皆さんこんにちは。地域おこし協力隊員の松田です。

今回は7月11日からスタートした新たな学習支援事業「学び舎ふらっと」についてご紹介します。

以前の協力隊通信でもご紹介した「学び舎ふらっと」ですが、夏休み前に3回実施し、1回あたり10名前後の中学生の皆さんにご参加いただきました。学習する内容は自由なので、学校のワークに取り組む生徒、苦手教科の総復習を行う生徒、漢検合格に向けて学習を進める生徒など、それぞれが自主的に課題を選択し、真摯に取り組む姿がみられました。また、上級生が下級生に勉強を教える姿も垣間見え、中学校の授業で重視されている「教え合い」が「学び舎ふらっと」でも行われていました。子どもたちからは「家よりも集中して勉強できた。」「友達や先輩・後輩と一緒に勉強できて楽しかった。」といった声が聞かれ、当事業の意義を実感することができました。

「学び舎ふらっと」は、夏休み明け以降も実施する予定です。当事業の目的である「学習時間の確保」と「学習習慣の定着」に向けて、子どもたちが集中してかつ前向きに学習に取り組める環境の整備に今後も取り組んでまいります。すでにご利用いただいている方も、まだ利用したことが無い方もご予定が合えばぜひお越しください！



## 観光振興担当 江坂文昭隊員



地域おこし協力隊の江坂です。今年の4月から「観光担当」に変わり、主に「トナカイ観光牧場」でトナカイのお世話をしています。実は、これまでの長い人生の中で、動物を飼った経験がなく、初めてお世話する動物がトナカイとは思いませんでした。

牧場では7月末現在、44頭のトナカイが元気に暮らしています。そのうち6頭は5月生まれの赤ちゃんトナカイです。オスが5頭、メスが1頭です。唯一のメス「はるひ」はメディアでも取り上げられているように真っ白の毛並みとブルーグレーの瞳の美人さんです。「はるひ」という名前は、幌延小学校2年生のみなさんが遠足に来られた際に名付けを宿題に出させていただき、その後ホームルームで決めていただきました。



写真は、生まれて約1月後の「はるひ」です。

今は一回り大きくなり、ご飯もしっかり食べ、他のオスの赤ちゃんたちと走り回っています。秋には、場内通路から皆様に見ただけよう計画しています。暑さや虫が苦手なトナカイたちが元気に夏を越し、皆さまに可愛がっていただけるよう、私たち飼育員も頑張ります。

他のオスたちの名前（私が勝手に命名したので非公式ですが）は、生まれた順に「トッチャン」「トニー」「イッパチ」「イッキュウ」「ハッカ」です。ぜひトナカイ観光牧場に足をお運びください。